



平成27（2015）年4月7日（火）発行
入学式特別号



新入生のみなさん！ようこそ七中へ！！
みなさんの入学を、七中の先生や先輩たちみんなが楽しみに待っていました。
これから3年間、みなさんと一緒に力を合わせて、みんながほっとできる学校、
「楽しい」と言える中学校生活をつくりたい！という気持ちでいます。どうぞよろしく！

新入生の入学に寄せて

※ 入学式の式辞より（抜粋）

昨年、七中は創立30周年を迎えました。開校当時の目標は、「七中を地域に開かれた学校にしよう」でした。

七中の校歌に「野に咲く花が好きな人たち、心優しいこの街で生まれ育った私たち」という歌詞があります。この歌詞のように、地域教育協議会などを、はじめとする関係諸機関との連携や交流を深めながら、文字通り、「地域に開かれた学校」になってきたように、思い、この七中に戻って、これたことをうれしく思っています。

七中には、全員が大切にしている目標・スローガンが二つあります。
「分かったといえる授業を」と、「ほっ」とできる学校を」です。

一つ目の「分かったといえる授業を」というのは、将来社会人として、必要な学力をつけるために、授業を大切にすることです。先生だけが頑張っても学力は付きません。授業をしっかり聞き、ノートを取り、提出物をおろそかにせず、家庭でその日の復習をしっかりして下さい。

二つ目の「ほっ」とできる学校を」というのは、学校・クラスが安心してできる場になること、自分のことを気にかけてくれる仲間がいることです。悩んでいるとき、困っているとき、どうしたのと、声をかけてくれる人が、となりにいれば、きっと、「ほっ」とできると思います。みんながそう思える学校にしていきたいと思います。

平成27年4月7日 校長 明石全弘

～1年生の先生より～

みんなで高め合う あたたかい学年に！

入学おめでとうございます！！101人の新たななかまがこの松原第七中学校に入学してきました。一人ひとり顔がちがうように、性格も、好きなものも、得意なこともちがいます。一人ひとりが様々な個性と夢をもった1年生のなかまです。

一人ひとりちがうということはとても素晴らしいことだと思いませんか？七中ではそんなちがいや個性を大切にしています。自分の良さを発見し、友達の良さを見つけ、みんなが笑顔で安心して過ごすことができ、一人ひとりが大切にされるそんな学校づくりをめざしています。1年生ではお互いに手をつなぎあって、高め合うことができる学年になって欲しいと願っています。そのためにはみんなのあたたかい気持ちが必要です。なかまのことを思いやり、自分にかかわる周りの人の気持ちを大切にしながら自分はどうすればいいのかを考え、行動していくことが何よりも大切です。さあ、101人のなかまといっしょにがんばっていきましょう。そして3年後、自分で選んだ自分の道を自信を持って進んでいける力をつけていきましょう。



1年生の担当です。

よろしくお願いします！



	1年1組	1年2組	1年3組
担 任	五百蔵 祐香 (理科)	長谷川 剛志 (社会)	西川 範子 (国語)
副担任	北嶋 進也 (技術)	嶋田 敦薫 (英語)	水田 ちなみ (数学)
	咲くらんぼ学級 学年代表 生徒指導 藤原 保・頼経 優子・柴田 和代 五百蔵 祐香 大畑 直輝		

七中では、子どもたちの様子やがんばり、学校からのお知らせ、月の行事予定などをこの「七中だより」でお知らせしています。毎月末と始業式・終業式に発行しますので、お読みください。

お子様のご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

七中では、一人ひとりを大切に、お互いの良さを認め合える学校づくりをめざしています。そのために、家庭・地域・学校が一体となって教育をすすめたいと考えています。

今日から3年間、義務教育最後の仕上げができるよう、教職員一同、力を合わせてまいります。保護者のみなさまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

